飛昆センサー
FIS-001
（データロガーユニットタイプ）

取扱説明書

イカリ消毒株式会社

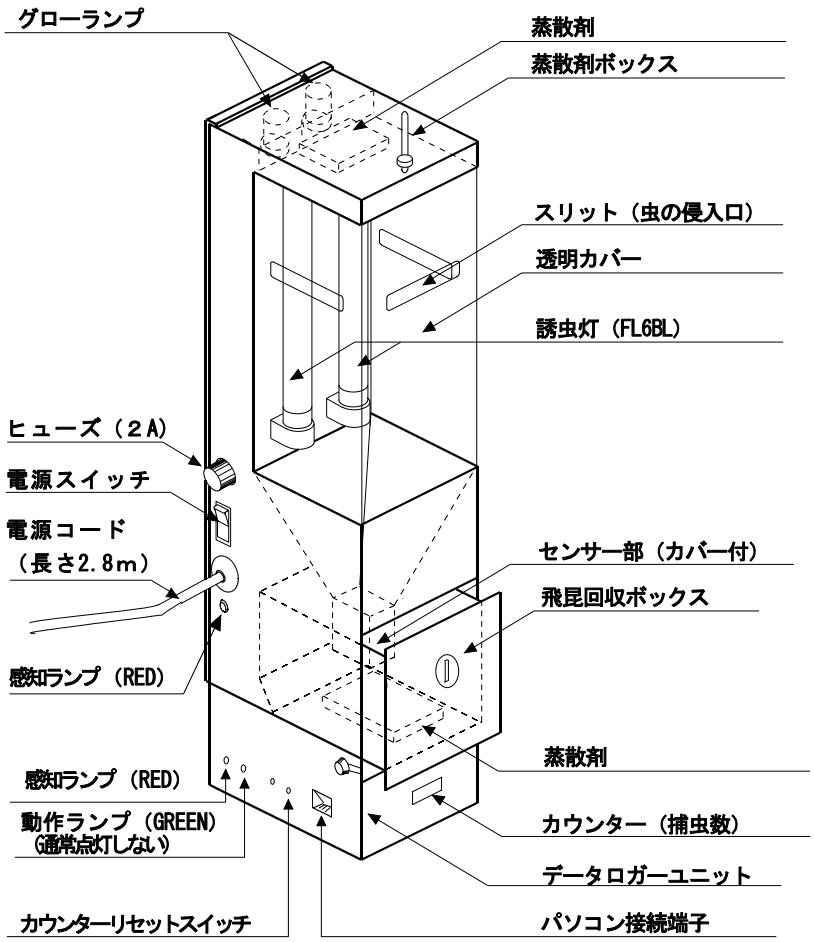
特徴と用途

飛翔性昆虫を誘虫灯で誘引し、装置内部に充満させた蒸散剤効力により、下部飛昆回収ボックスへ落下させると同時にセンサーで落下する昆虫を感知カウントする装置。さらに、データロガーユニットによってセンサーのカウントデータをメモリ内に記録保持しているので、ノートパソコンでデータ収集できるなど、飛翔性昆虫発生のモニタリングが簡単にできます。

主な仕様

商　品　名	飛昆センサー
型　番	FIS-001
センサータイプ	光電センサー
電源電圧	ＡＣ１００Ｖ
寸　法（mm）	110（W)×514（H）×145（L)
消費電力	15W
重　量	５Kg
誘　虫　灯	６W(FL6BL)×2本
データ蓄積容量	捕獲昆虫累計で約２万カウント分

各部名称
（データロガータイプ）



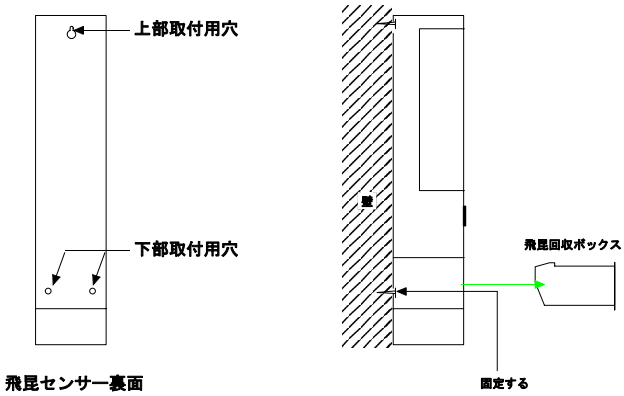
使用方法

●設置方法

①AC１００V電源が確保でき、作業性の良い場所に設置します。水濡れの恐れのある場所には設置できません。

②壁などにネジを取付け、飛昆センサー裏面の上部取りつけ穴に掛けます。
（飛昆センサーは５ｋｇの重さがありますので、ネジ穴の強度にご注意ください）

③飛昆回収ボックスを抜き、床と水平になるよう本体位置を調整し、下部取付穴２ヵ所を使用してネジ固定してください。



●セット方法

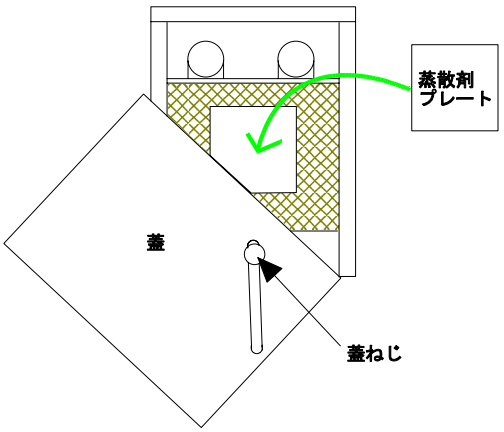
①AC１００V電源を入れ、電源スイッチをONにすると、誘虫灯が点灯します。

②感知チェックを行うため、透明カバーに開いているスリット口より直径2mmほどにまるめたティッシュなどの感知テスト物を装置内に落とします。そのとき、カウンターの数値が１カウント上がること、本体及びデータロガーユニットの感知ランプがその瞬間に点灯することを目視でチェックします。

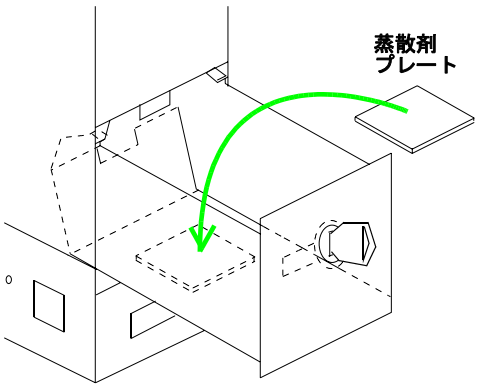
③飛昆回収ボックスを抜いて中にある感知テスト物を取り除き、データロガーユニット側面のスイッチ【C.RISET】をボールペンなど先のとがったもので押してカウンタをゼロにリセットします。

④飛昆センサー上部の蒸散剤ボックスと、下部の飛昆回収ボックスの中に蒸散剤（DDVPプレートorブンガノンVAプレート：大きさ５ｃｍ×５ｃｍぐらいにして）を入れてください。

飛昆センサー上面図



1. 蓋ねじを蓋が動く程度にゆるめます。
2. 蓋をスライドさせて開けます。
3. 蒸散剤を入れ、蓋をもとの位置にもどして蓋ねじをしめます。



1. 鍵を開け、飛昆回収ボックスを引き出します。
2. 蒸散剤を入れます。
3. 飛昆回収ボックスをもとにもどし、必ず鍵をかけてください。

●データロガーユニットのロギングスタート方法とデータ収集
（別紙プログラムマニュアルを参照）

①データロガーユニットのロギングスタート

飛昆センサー用プログラム「DDLog３Ver.0.1.0」マニュアルのインストール手順にしたがってプログラムをノートパソコン（OS：WINDOWS95/98/Me/2000/XP、必要容量３MB、表計算ソフト搭載）にインストールした後、添付の専用ケーブル（DRS5ケーブル）でノートパソコンとデータロガーユニットを接続します。

次に同マニュアル、ソフトウェアの使用方法を参考に初期設定を行い、ロギングスタート操作をします。

②データ収集方法

飛昆センサー用プログラム「DDLog３Ver.0.1.0」マニュアルのソフトウェアの使用方法を参考にデータ収集を行ってください。なお、データ蓄積容量はロギングをスタートさせてからの捕獲昆虫累計約２万カウント分です。期間ではありません。これはデータ収集後、リセット操作を行うと消去されてメモリが空になり、また２万カウント分蓄積できるようになります。

注意：データ収集を行う前に、誤ってデータロガーユニット左側面の【START】スイッチを押してしまうと、蓄積データはすべてリセット消去されてしまいますのでご注意ください。

使用方法

●捕獲昆虫の回収

①捕獲した昆虫を回収する際は、電源をＯＦＦにします。

②鍵をあけて飛昆回収ボックスを引き出し、捕獲昆虫を回収します。

●センサー部の清掃

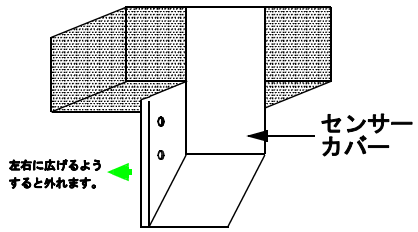
①清掃前に、電源スイッチをOFFにします。

②センサーカバーを外して、センサー面及びセンサーカバーの内側に障害物が留まっていないかどうかをチェックします。

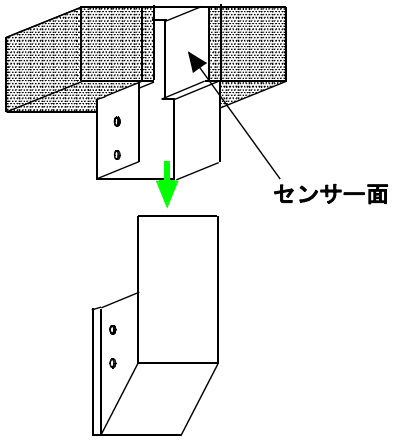
③センサー面が汚れていると昆虫の落下を感知できなくなりますので、やわらかい布なので軽く擦るようにして清掃を行います（次ページ図参照）

②清掃後は、電源スイッチをＯＮにします。

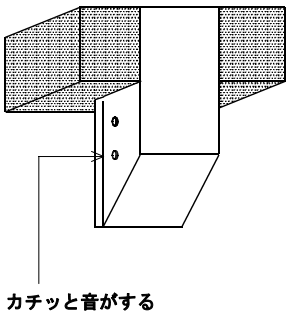
センサー部の清掃方法



飛昆回収ボックスを引き抜くと、ステンレス製のセンサーカバーが見えるので、これを外します。



カバーを外すとセンサー面が見えます。センサー面及びセンサーカバー内をやわらかい布などで軽く拭いてください。

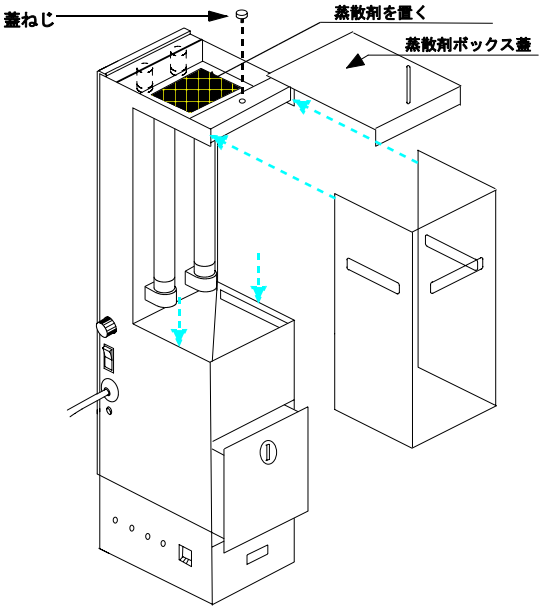


センサーカバーを再び装着します（左右４つの凹凸をあわせます）飛昆回収ボックスをもどし、必ず鍵をかけてください。

●蒸散剤の交換

蒸散剤の交換時期の目安として、ＤＤＶＰプレートの場合は約２ヶ月、ブンガノンプレートの場合は約１ヶ月です。（ブンガノンプレートは、DDVPプレートに比べてカウント数値が実際の捕獲虫数よりやや多くカウントされます。）

●透明カバーの交換方法
（破損した場合、汚れがひどい場合などに行ってください）



①蓋ねじを外して、蒸散剤ボックス蓋をはずします。

②破損または汚れた透明カバーを除去してください。

③飛昆センサー上部両側にある溝へ透明カバーを奥まで差し込んでから５㎜程下へずらすようにして溝にはさみます。

④蒸散剤ボックス蓋をもとに戻し、蓋ねじをしめます。

データロガーユニットについて

データ記憶装置「データロガーユニット」の製品保証期間は、５年間です。
製造年月（データロガーユニット蓋面に記載）から５年が経過したら、弊社担当窓口にお問い合わせください。
装置メインテナンスを有償で受け付けております。

注意事項

●電源はAC100V、50Hz/60Ｈｚ共用です。

●温度５～４０℃、湿度２０～９０％（結露なし）の環境でご使用ください。

●水濡れの恐れのあるところには設置できません。

●誘虫灯の交換時には、故障や感電するおそれがありますので、必ずコンセントを抜いてから行ってください。

●通常の使用では一般の蛍光ランプと同様にランプを見つめても特に人体に害はありません。ただし、紫外線に敏感な体質の方は長時間見つめることをおやめください。

●幼児の手の届かないところに設置してください。

●誘虫ランプは飛昆センサー専用で、殺菌効果はありません。

問い合せ先：

イカリ消毒株式会社
環境資材部　技術グループ
〒275-0024　千葉県習志野市茜浜1-12-3
TEL：047-452-6780　FAX：047-451-0916